

新潟米 マンスリーレポート

(令和5年9月号)

《今月の特集》

農林水産省令和6年度予算の概算要求について

8月31日に、農林水産省の令和6年度予算の概算要求が公表されました。水田活用の直接支払交付金等の要求額は令和5年度当初予算と同額の3,050億円、内容も令和5年度とほぼ同様です。これらの支援策を参考に、令和6年産の作付の検討をはじめましょう。

1 水田活用の直接支払交付金等

【令和6年度予算概算要求額 305,000 (305,000) 百万円】

＜対策のポイント＞

食料自給率・自給力の向上に資する麦、大豆、米粉用米等の戦略作物の本作化とともに、地域の特色をいかした魅力的な産地づくり、産地と実需者との連携に基づいた低コスト生産の取組、畑地化による高収益作物等の定着等を支援します。

＜政策目標＞

- 麦・大豆等の作付面積を拡大（麦30.7万ha、大豆17万ha、飼料用米9.7万ha【令和12年度まで】）
- 実需者との結びつきの下で、需要に応じた生産を行う産地の育成・強化
- 飼料用米、米粉用米の生産を拡大（飼料用米：70万t、米粉用米：13万t【令和12年度まで】）

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 戦略作物助成

水田を活用して、麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米、飼料用米、米粉用米を生産する農業者を支援します。

2. 産地交付金

「水田収益力強化ビジョン」に基づく、地域の特色をいかした魅力的な産地づくりに向けた取組を支援します。

3. 都道府県連携型助成

都道府県が転換作物を生産する農業者を独自に支援する場合に、農業者ごとの前年度からの転換拡大面積に応じて、都道府県の支援単価と同額（上限：0.5万円/10a）で国が追加的に支援します。

4. コメ新市場開拓等促進事業

11,000 (11,000) 百万円

産地と実需者との連携の下、新市場開拓用米等の低コスト生産等の取組を行う農業者を支援します。

5. 畑地化促進助成

2,215 (2,215) 百万円

水田を畑地化し、高収益作物やその他の畑作物の定着等を図る取組等を支援します。

戦略作物助成

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	3.5万円/10a※1
WCS用稲	8万円/10a
加工用米	2万円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、5.5万円～10.5万円/10a※2

＜交付対象水田＞

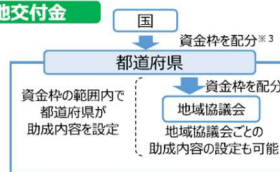
- ・ たん水設備（畦畔等）や用水路等を有しない農地は交付対象外。
- ・ 5年間で一度も水張り（水稲作付）が行われない農地は令和9年度以降は交付対象水田としない。
- ・ 水張りは、水稲作付けにより確認することを基本とする。ただし、①温水管理を1か月以上行い、②連作障害による収量低下が発生していない場合は、水張りを行ったものとみなす。

※1：多年生牧草について、収穫のみを行う年は1万円/10a

※2：飼料用米の一般品種について、令和6年度については標準単価7.5万円/10a（5.5～9.5万円/10a）

今後、標準単価を段階的に引き下げ、令和8年度において標準単価6.5万円/10a（5.5～7.5万円/10a）とする

産地交付金



○ 当年産の以下の取組に応じて資金枠を追加配分

取組内容	配分単価
そば・なたね、新市場開拓用米、地力増進作物の作付け（基幹作物のみ）	2万円/10a
新市場開拓用米の複数年契約	1万円/10a

※3：作付転換の実績や計画等に基づき配分

＜事業の流れ＞

営農計画書・交付申請書等の取りまとめ



畑地化促進助成※4

① 畑地化支援 ③ 産地づくり体制構築等支援

② 定着促進支援（①とセット）

④ 子実用とうもろこし支援 ※4：事業の詳細は予算編成過程で検討

【お問い合わせ先】農産局企画課（03-3597-0191）

※ 今後の国の予算編成過程において、変更となる場合があります。

※ その他の事業については、農林水産省ホームページから確認ください。

(<https://www.maff.go.jp/j/budget/r6yokyu.html>)

新潟米の販売状況

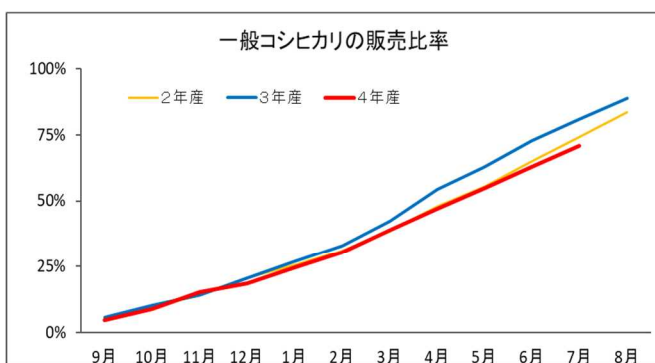
概況

令和5年7月の販売比率は前年同月に比べ、新潟一般コシヒカリが10ポイント下回り、魚沼コシヒカリが8ポイント下回っているのに対し、こしいぶきは7ポイント上回っている。

販売比率

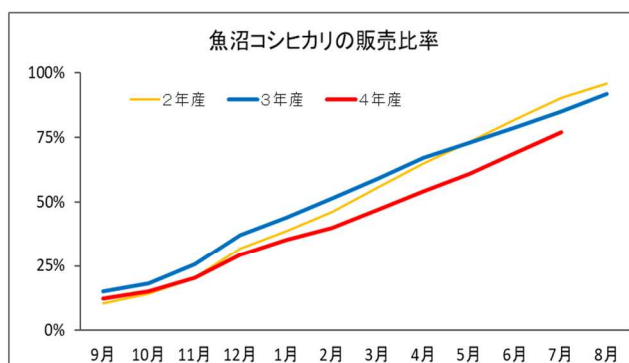
(1) 一般コシヒカリ

7月末現在の4年産一般コシヒカリの販売比率は71%となっており、3年産比10ポイント減、2年産比3ポイント減となっている。



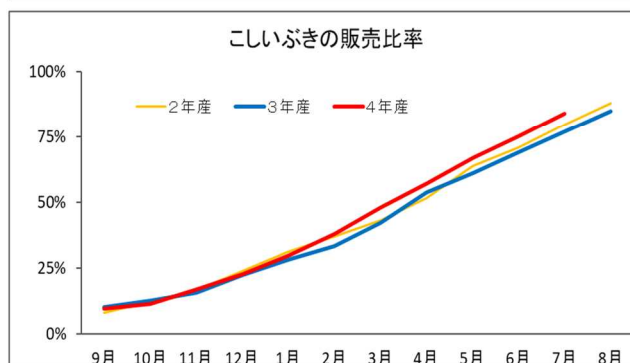
(2) 魚沼コシヒカリ

7月末現在の4年産魚沼コシヒカリの販売比率は77%となっており、3年産比8ポイント減、2年産比13ポイント減となっている。



(3) こしいぶき

7月末現在の4年産こしいぶきの販売比率は84%となっており、3年産比7ポイント増、2年産比4ポイント増となっている。



販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	2年産	5%	10%	14%	21%	26%	31%	39%	48%	56%	65%	74%	84%
	3年産	6%	10%	14%	21%	27%	33%	42%	55%	63%	73%	81%	89%
	4年産	5%	9%	15%	19%	25%	31%	39%	47%	55%	63%	71%	
魚沼コシヒカリ	2年産	10%	14%	20%	32%	39%	46%	56%	65%	73%	82%	90%	96%
	3年産	15%	18%	26%	37%	44%	51%	59%	67%	73%	79%	85%	92%
	4年産	12%	15%	20%	29%	35%	40%	47%	54%	61%	69%	77%	
佐渡コシヒカリ	2年産	3%	14%	20%	28%	35%	44%	54%	61%	70%	77%	84%	90%
	3年産	4%	15%	20%	27%	36%	41%	50%	58%	65%	73%	80%	87%
	4年産	5%	13%	18%	23%	32%	37%	46%	52%	59%	68%	73%	
岩船コシヒカリ	2年産	5%	11%	17%	25%	33%	38%	46%	54%	59%	66%	75%	82%
	3年産	8%	11%	18%	27%	33%	40%	48%	56%	61%	70%	75%	87%
	4年産	11%	11%	17%	24%	30%	36%	45%	55%	63%	73%	80%	
こしいぶき	2年産	8%	12%	16%	24%	31%	37%	43%	52%	64%	71%	80%	88%
	3年産	10%	13%	16%	22%	28%	33%	42%	54%	61%	69%	77%	85%
	4年産	10%	11%	17%	23%	30%	38%	48%	57%	67%	75%	84%	

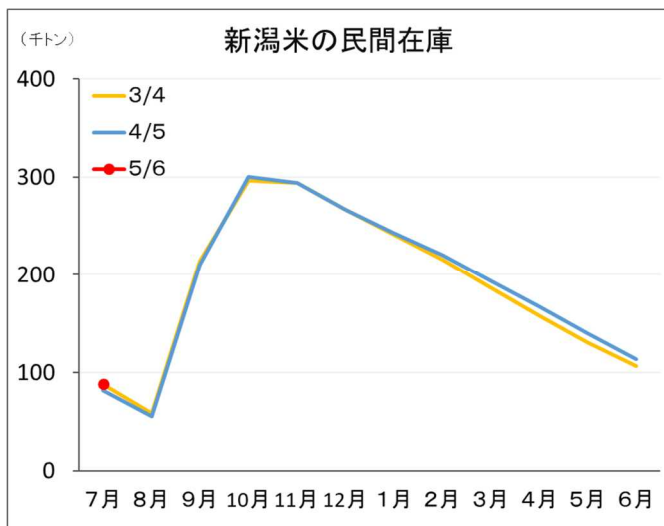
資料 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注) 各年産の9月から12月は、販売比率非公表のため、直近月の集荷量で除して算出。

在庫状況

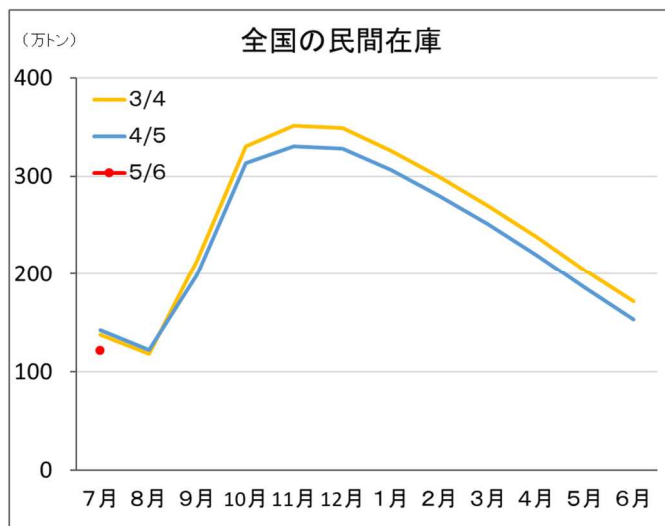
(1)新潟米

7月末現在の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年同月から6千トン増、前々年同月と同等の88千トンとなった。



(2)全国

7月末現在の全国の民間在庫(うるち米)は、前年同月から20万トン減、前々年同月から16万トン減の122万トンとなった。



民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は千玄米トン、全国は万玄米トン)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟米	3/4	88	58	214	296	294	267	241	216	187	158	131	107
	3年産米	0	1	175	266	268	245	223	200	174	147	121	98
	1年古米(2年産)	84	54	35	28	24	20	17	14	12	11	10	8
	4/5	82	55	210	301	294	267	243	220	194	167	140	114
	4年産米		1	177	274	272	250	229	209	184	158	132	107
	1年古米(3年産)	74	48	28	23	19	16	13	11	9	9	7	6
新潟米	5/6	88											
	5年産米												
	1年古米(4年産)	83											
全国	3/4	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
	3年産米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
	1年古米(2年産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
	4/5	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
	4年産米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
	1年古米(3年産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
全国	5/6	122											
	5年産米	1											
	1年古米(4年産)	106											

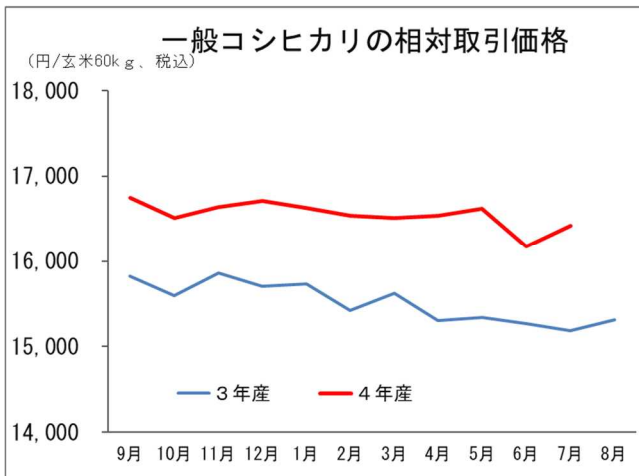
資料: 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

- 注: 1 出荷段階及び販売段階における水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の玄米仕入量が500トン以上)である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。

相対取引価格

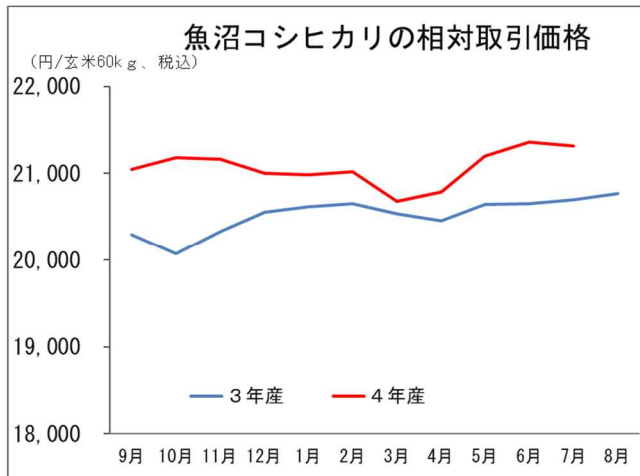
(1)一般コシヒカリ

7月の一般コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前年同月に比べ1,236円上回り、16,418円(玄米60kg、税込)となった。



(2)魚沼コシヒカリ

7月の魚沼コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前年同月に比べ613円上回り、21,317円(玄米60kg、税込)となった。



相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	2年産	16,871	16,713	16,776	16,761	16,828	16,794	16,666	16,605	16,612	16,176	15,776	15,729
	3年産	15,820	15,596	15,864	15,702	15,732	15,426	15,624	15,300	15,343	15,265	15,182	15,315
	4年産	16,751	16,510	16,636	16,708	16,634	16,542	16,510	16,542	16,622	16,179	16,418	-
魚沼コシヒカリ	2年産	20,595	20,733	20,049	20,437	20,665	20,492	20,249	19,795	20,228	20,098	20,337	20,360
	3年産	20,301	20,071	20,334	20,555	20,620	20,655	20,535	20,460	20,644	20,659	20,704	20,770
	4年産	21,047	21,179	21,161	21,006	20,988	21,020	20,680	20,786	21,205	21,365	21,317	-
佐渡コシヒカリ	2年産	17,264	17,273	17,533	17,278	17,229	17,330	17,299	17,132	17,117	16,603	14,701	16,244
	3年産	16,194	16,190	16,216	16,555	16,204	16,129	16,070	16,620	16,527	-	-	-
	4年産	17,182	17,215	17,245	17,172	17,261	16,825	16,971	-	16,778	-	-	-
岩船コシヒカリ	2年産	17,292	17,276	17,258	17,241	17,226	17,245	17,243	17,194	17,048	16,608	15,678	14,451
	3年産	16,198	16,161	16,142	16,184	16,179	15,786	15,980	-	-	-	-	-
	4年産	17,144	16,893	17,284	16,850	17,179	16,775	17,008	-	-	-	-	-
こしいぶき	2年産	14,513	14,558	14,455	14,563	14,388	14,577	14,450	14,391	14,122	13,947	14,273	12,439
	3年産	12,794	12,781	13,313	12,648	12,691	12,380	12,494	11,841	12,294	12,097	12,006	12,034
	4年産	13,405	13,139	13,353	13,389	13,462	13,249	13,544	13,041	13,441	12,979	12,899	-

資料 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

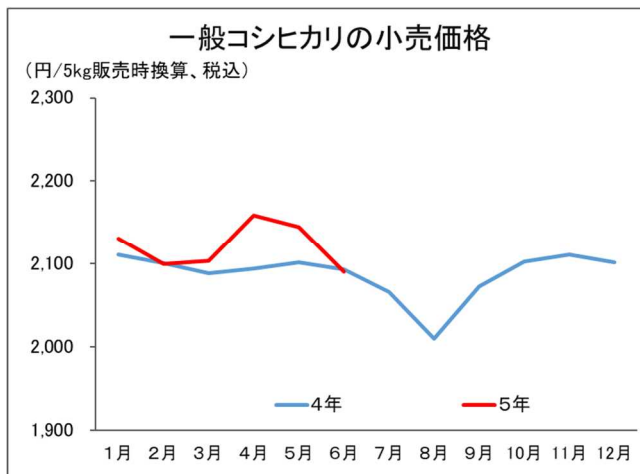
(注)「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの、または、当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

小売価格

(POSデータ)

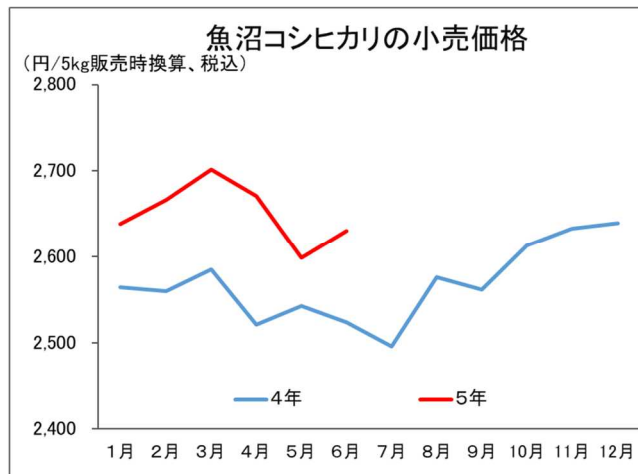
(1)一般コシヒカリ

6月の一般コシヒカリの小売価格は、前年同期に比べ3円下回り、2,090円(5kg袋販売時換算、税込)となった。



(2)魚沼コシヒカリ

6月の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年同期に比べ106円上回り、2,630円(5kg袋販売時換算、税込)となった。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般コシヒカリ	3年	2,136	2,142	2,119	2,124	2,063	2,143	2,115	2,182	2,158	2,101	2,123	2,091
	4年	2,111	2,101	2,089	2,094	2,102	2,093	2,066	2,010	2,073	2,103	2,111	2,102
	5年	2,131	2,100	2,104	2,159	2,145	2,090						
魚沼コシヒカリ	3年	2,663	2,679	2,672	2,656	2,621	2,526	2,547	2,594	2,579	2,616	2,660	2,528
	4年	2,564	2,560	2,585	2,521	2,543	2,524	2,496	2,576	2,562	2,613	2,633	2,639
	5年	2,638	2,666	2,702	2,671	2,599	2,630						
佐渡コシヒカリ	3年	2,274	2,267	2,285	2,280	2,254	2,242	2,329	2,289	2,313	2,147	2,194	2,139
	4年	2,196	2,150	2,145	2,149	2,206	2,133	2,201	2,114	2,149	2,168	2,192	2,179
	5年	2,164	2,137	2,206	2,212	2,175	2,133						
こしいぶき	3年	1,816	1,811	1,818	1,776	1,784	1,846	1,820	1,741	1,743	1,703	1,699	1,676
	4年	1,665	1,618	1,653	1,472	1,465	1,483	1,455	1,467	1,609	1,655	1,702	1,590
	5年	1,584	1,521	1,536	1,682	1,754	1,684						

資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)「-」は、当該月の取扱量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

編集後記 ~実践!お米のアイスづくり~

こんにちは!9月とはいえ、日中はまだまだ30度を超える真夏日続きです。

まだまだアイスがおいしい時期...!ということで、7月号の編集後記で

紹介した「お米のアイス」づくりにチャレンジしていました。

研究しはじめると意外と奥深く、煮詰める時間が短いとシャーベット寄り、

長くするとお米の粘りが出てきてアイスクリーム寄り、という違いがあり面白かったです。

いずれの場合もお米の粒が残っていて、食感のアクセントになっていました。

用意するものはシンプルな材料のみのため、いろいろな条件を試すことができ、

夏の良い自由研究になりました。



写真は
シャーベット
寄りになった
時のものです



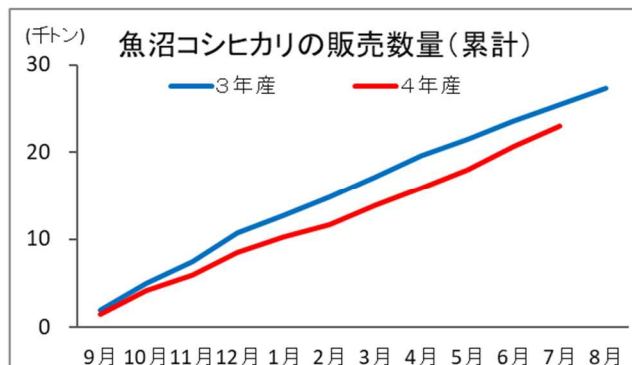
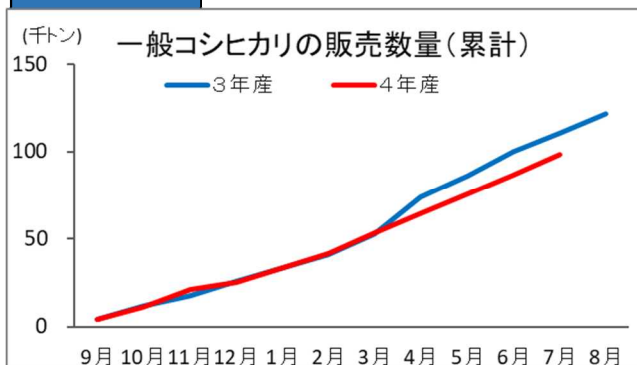
発行元:新潟県農林水産部農産園芸課

TEL:025-280-5295

URL:https://www.niigatamai.info

資料編

販売状況



販売数量(累計)の推移

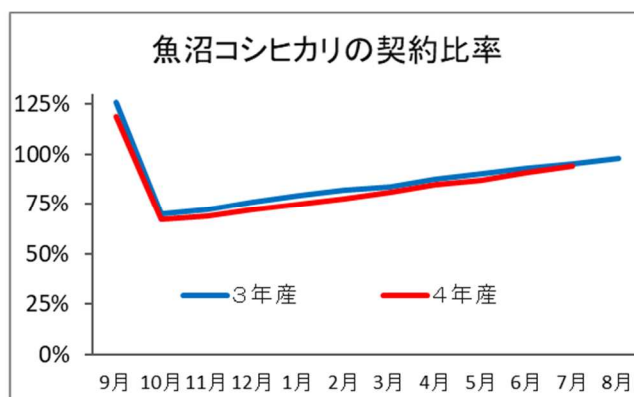
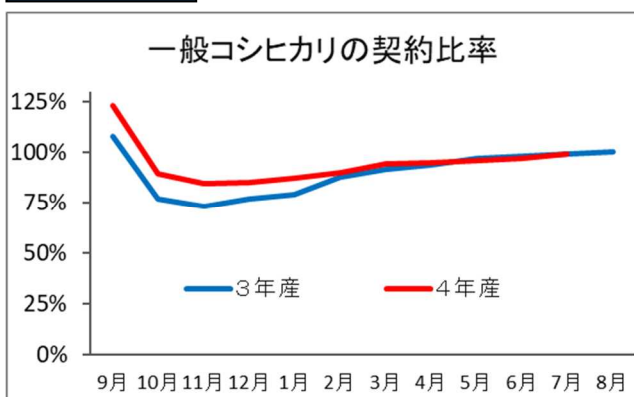
(玄米千トン)

産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般コシヒカリ	2年産	4.2	12.1	18.7	27.9	34.0	41.5	51.4	64.0	73.9	87.0	99.7	112.1
	3年産	4.3	11.7	17.5	25.7	33.6	41.2	52.7	74.0	86.1	100.0	110.8	121.7
	4年産	4.0	11.1	21.2	25.3	33.3	41.9	53.4	64.6	75.5	86.7	98.0	
魚沼コシヒカリ	2年産	1.5	4.5	6.9	10.8	13.1	15.6	18.8	22.0	24.8	28.0	30.8	32.7
	3年産	1.9	5.0	7.4	10.7	12.7	14.9	17.2	19.6	21.5	23.6	25.5	27.3
	4年産	1.5	4.2	5.9	8.5	10.2	11.6	13.9	15.9	18.0	20.6	23.0	
佐渡コシヒカリ	2年産	0.2	1.7	2.9	4.0	5.0	6.2	7.7	8.7	9.9	11.0	12.0	12.9
	3年産	0.2	1.7	2.7	3.7	5.0	5.7	6.9	8.0	9.0	10.1	11.1	12.1
	4年産	0.3	1.6	2.6	3.4	4.6	5.3	6.7	7.6	8.6	9.9	10.7	
岩船コシヒカリ	2年産	0.2	1.3	2.0	3.0	3.9	4.5	5.4	6.4	7.0	7.9	8.9	9.8
	3年産	0.3	1.2	2.0	3.0	3.6	4.4	5.2	6.1	6.7	7.7	8.3	9.6
	4年産	0.3	1.1	1.7	2.5	3.1	3.7	4.7	5.7	6.5	7.5	8.3	
こしいぶき	2年産	2.3	5.1	7.9	11.6	14.9	17.7	20.7	24.7	27.9	31.3	35.4	39.0
	3年産	2.6	4.2	5.9	8.5	11.0	13.0	16.6	22.7	25.8	29.5	32.9	36.1
	4年産	2.3	3.9	6.1	8.0	10.5	14.4	17.9	21.5	25.2	28.3	31.7	

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況



契約比率の推移

産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般コシヒカリ	2年産	101%	74%	79%	79%	81%	84%	87%	89%	91%	92%	97%	99%
	3年産	108%	77%	73%	77%	79%	88%	91%	94%	97%	98%	99%	100%
	4年産	123%	90%	85%	85%	87%	90%	94%	95%	96%	97%	99%	
魚沼コシヒカリ	2年産	81%	44%	47%	54%	58%	64%	70%	79%	83%	90%	96%	98%
	3年産	126%	70%	72%	76%	79%	82%	84%	87%	90%	93%	95%	98%
	4年産	119%	67%	69%	72%	75%	77%	81%	85%	87%	91%	94%	
佐渡コシヒカリ	2年産	212%	105%	91%	92%	92%	94%	96%	97%	99%	99%	99%	100%
	3年産	271%	106%	89%	91%	91%	94%	99%	99%	99%	99%	100%	100%
	4年産	227%	105%	89%	90%	94%	95%	98%	98%	100%	100%	100%	
岩船コシヒカリ	2年産	235%	77%	91%	92%	89%	89%	90%	90%	92%	92%	88%	99%
	3年産	268%	90%	90%	90%	91%	91%	101%	102%	102%	102%	100%	100%
	4年産	367%	97%	96%	96%	99%	99%	99%	99%	100%	101%	101%	
こしいぶき	2年産	84%	69%	81%	82%	83%	85%	87%	89%	97%	98%	98%	99%
	3年産	103%	82%	73%	76%	78%	84%	91%	97%	97%	97%	99%	99%
	4年産	113%	81%	82%	82%	84%	86%	97%	98%	98%	99%	99%	

資料 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)各年産の9月から12月は、契約比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。